

ひぜんはましゆく こうじろくうじ
 ～肥前浜宿と神代小路を巡る町並みツアー～

この度、長崎街道肥前浜宿（鹿島市）、塩田宿（嬉野市）、神代小路（雲仙市）の地域づくりを巡る町並みツアーを企画しました。いずれの地域も伝統的建造物群保存地区に指定され、地域固有の古い町並みを活かしたまちづくりを進めています。

また、島原まで足を延ばし、武家屋敷、森岳商店街を視察します。

雲仙の美味しい料理を食べながら、わいわいがやがや姪浜のまちづくり談義をしましょう。

■ 日程：9月18日（土）～19日（日） 1泊2日

■ コース：

（1）1日目 長崎街道肥前浜宿と塩田宿の伝統的な町並み巡り

福岡～肥前浜宿～塩田宿～祐徳稲荷神社～（太良・諫早経由）～雲仙（宿泊）



肥前浜宿の町並み

佐賀平野の最南端に位置する「肥前浜宿（はましゆく）」は、浜川の河口につくられた在方町で、室町時代にはすでに町として成立していたと考えられ、江戸時代は長崎街道多良往還（多良海道）の宿場町として、また有明海に臨む港町として栄え、明治以降も酒造業や水産加工業に支えられ、豊かな町並みがつくられてきました。

人口も多く、江戸時代から「浜千軒」といわれてきたそうです。八宿地区や中町地区周辺を中心に、通り（長崎街道多良往還）沿いには今でも白壁土蔵造りの酒蔵や草葺の町家が立ち並び、伝統的な景観を色濃く残しています。



塩田宿の町並み

かつて長崎街道沿いに栄えた宿場町。塩田川は当時、嬉野や有田など、焼物の積み出しや陸揚げを行う港として利用され繁栄しました。

物資取引の中心地となった馬場下一帯は今も白壁造りの町家が残し、当時の様々な建築様式が、かつての面影を残しています。

(2) 2日目 神代小路の町並み巡り

雲仙～島原（武家屋敷、森岳商店街）～神代小路～福岡



島原武家屋敷跡の町並み

長さ 406.8m、幅 5.6m の未舗装の道の真ん中に約 50cm 幅の水路に清流が流れる武家屋敷跡の町並み。

8 月初旬の一湧水に感謝するまつり「島原水まつり」には両脇に竹灯籠の明りが灯され、せせらぎを聴きながら浴衣姿の人達がそぞろ歩きます。

町並みを特徴付ける石垣は当初からあったものではなく、1775 年の藩命によって設けられたものらしいとのことですが、切り石塀の上部にごろ石が数段置かれているのが福江の武家屋敷通りと同じ形式です。

石塀からは屋敷内に植えられた庭園樹に混じって柑橘系や枇杷などの果樹がみえ、下級武士の屋敷に課せられた自給という藩命を今に伝え、生活感を感じさせる町並みを形成しています。



神代小路の町並み

神代小路は、天正 15 年（1584）の九州国割を経て、慶長 13 年（1608）鍋島信房が初代領主となったことに始まります。城址の森と堀を兼ねた川に囲まれた武家地ならではの閉鎖的空間を有しています。江戸中期の地割りをよく残し、武家屋敷建築の主屋や長屋門が、屋敷囲いを構成する生垣や石垣、水路などの環境要素と相まって美しい町並み景観を醸し出しています。

■ 宿 泊：雲仙

■ 募集人数：5～6名程度

■ 参加費用：5,000円程度（交通費（車2台）、宿泊費、飲食費込み）

※不足分は協議会で負担します。

■ 申し込み・連絡先：

唐津街道姪浜まちづくり協議会

事務局 大塚政徳

TEL：090-7929-7758

E-mail：ottu-masa@iwk.bbiq.jp または otsuka.m03@city.fukuoka.lg.jp

※コースは予定であり、都合により変更することがあります。